

報道関係者各位

2008年7月2日

森ビル株式会社

株式会社宍戸国際ゴルフ倶楽部

**森ビル、ゴルフを活用した子供の情操教育を支援**  
**～ スナッグゴルフにより、挨拶などのマナー面で高い効果(アンケート調査結果より)～**  
**7月5日(土)『第6回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ』開催**

森ビル株式会社(東京都港区 代表取締役社長 森 稔)とグループ会社である株式会社宍戸国際ゴルフ倶楽部(東京都港区 代表取締役社長 坂本 好伸)は、2003年から茨城県内において、社団法人日本ゴルフツアー機構(JGTO)と共に、「UBS日本ゴルフツアー選手権 宍戸ヒルズ」の社会貢献活動として、スナッグゴルフ(※)を通じた青少年の健全育成支援を行っています。ゴルフ用具の小学校への寄贈(茨城県内57校)や、指導員の育成、大会の開催、講習会や練習試合におけるコースの開放などを積極的に展開し、すでに、茨城県はスナッグゴルフ普及の全国モデルケースとなっています。

JGTOと森ビルでは、普及活動が5年を経過したこのほど、スナッグゴルフを導入している学校の教員や大会に参加している児童の保護者に対してアンケート調査を行ない、スナッグゴルフの取り組みによる効果について検証しました。

「スナッグゴルフの取り組みによる効果についてのアンケート」

子供たちが以前と比較して特に向上した主な項目

「挨拶や礼儀」	(教員 92% 保護者 65%)
「社交性・協調性・コミュニケーション」	(教員 83% 保護者 77%)
「協力する」	(教員 83% 保護者 73%)
「思いやり」	(教員 67% 保護者 61%)
「我慢」	(教員 75% 保護者 58%)
「誠実」	(教員 66% 保護者 58%)

※特に基本マナーや社会生活に必要な項目に効果

＜アンケート結果詳細は次頁以降参照＞

調査時期：2008年5月

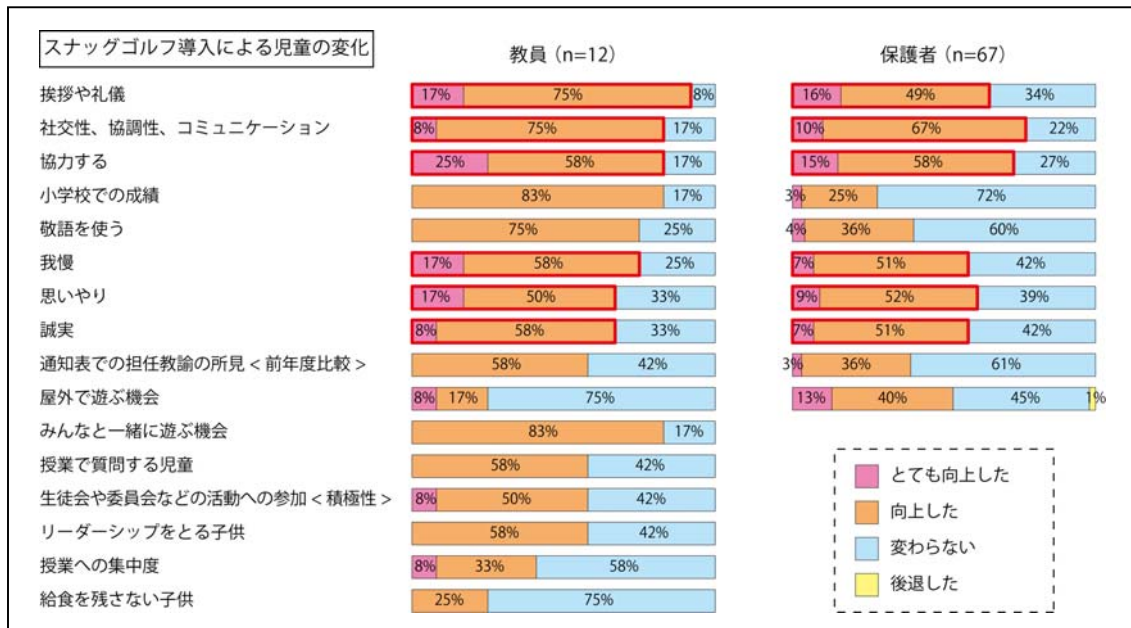
回答者：教員12名(昨年予選大会に参加した、茨城県内の小学校12校)

児童の保護者 67名

調査内容：「挨拶や礼儀」「敬語を使う」「社交性・協調性・コミュニケーション」「協力する」などの能力について、教員あるいは保護者からみた児童の変化を「とても向上した・向上した・変わらない・後退した・とても後退した」の5段階で評価

※スナッグゴルフ(「Starting New At Golf」“ゴルフを始めるために”の頭文字)とは、アメリカでゴルフを学ぶために開発され、子供や初心者でもボールを容易・安全・簡単に打つことができる簡易版ゴルフといえるスポーツで、現在日本全国の約280の小学校で導入されています。アメリカでは、「協力、誠実、我慢、思いやり、礼儀」などの価値観や道徳観が養われ、青少年の健全育成に貢献できるスポーツとしても知られています。

## アンケート結果詳細



基本的に全ての項目において向上がみられますが、教員、保護者ともに効果が顕著とした項目は以下の通りです。 ※以下、文章内の数字 (%) は「とても向上した」「向上した」の合計です。

### 1) 挨拶や礼儀

特に効果が顕著だったのは、「挨拶や礼儀」(教員 92% 保護者 65%)です。スナッグゴルフの練習場は一般のゴルフ場となり、他のスポーツよりも社会性のある(ゴルフ場のスタッフや他の大人の一般客などと接する)場所で練習をするため、自然と挨拶や礼儀を求められる環境にあると考えられます。(他のスポーツはグラウンド等で子どもが接するのはコーチ、教師のみといった環境が多い。)

### 2) 社交性や協調性、思いやり

「社交性、協調性」については、教員の 83%、保護者の 77%が、「協力する」については、教員の 83%、保護者の 73%が、また「思いやり」についても、教員 67%、保護者 61%が前向きな変化を認めました。スナッグゴルフは個人競技の団体戦のため、仲間を応援するという気持ち、また自分も頑張らないとメンバーに迷惑をかけてしまう、というような気持ちから社交性や協調性、思いやりの心が芽生えると考えられます。

### 3) 我慢や誠実

「我慢」や「誠実」についても、教員、保護者ともに大きな変化を認めました。これは、ゴルフというスポーツが我慢のスポーツであること、また、スナッグゴルフもゴルフ同様に審判がおらず自分でスコアをつけるため、誠実さが求められる競技という理由が考えられます。



[参考]アンケート結果（自由回答）

■教員が感じた児童たちの変化（抜粋）

- ・ スナッグゴルフを通して協調性、お互いを思いやる心が伸びた。また、他人からのアドバイスなどをきちんと聞ける素直さが伸びた。スナッグゴルフという場を通して「みんなに自分たちのがんばり」を認めてもらえたことが子どもたちの成長にとっても良かったと思う。
- ・ よく挨拶するようになり、積極的に自信を持って活動するようになった。練習をしていく中でも全体の流れを考えて動けるようになったことに感心した。
- ・ 特に5年生は、後輩を手伝いたい、教えたいと思い協力してくれた。

■保護者が感じた児童の変化（抜粋）

- ・ 目標をもって物事に取り組むことができるようになってきた。自分が決めたことを達成するためには努力が必要だということを経験できたと思う。
- ・ 気持ちの切り替えができるようになった。
- ・ 責任感が芽生えてきた。
- ・ スナッグゴルフを始め、挨拶や敬語を目上の人に対して身につけてきたと思う。
- ・ スナッグゴルフを通じて身につけたことは、集中力と自分を取り巻く人に対する感謝の気持ちである。全国大会で経験した忍耐や気持ちの切り替えが必要なことなど多くのことを学んだようだ。
- ・ 一番大きく変化したことは、大きな声で挨拶することができるようになったこと。指導者の方が大きな声で挨拶することの大切さをくりかえし教えてくださったからだと感じている。
- ・ スナッグゴルフをしてから、恥ずかしがったりせず自ら大きい声であいさつができるようになった。また「ゴルフは自分の打ったボールをまた自分で打つスポーツなので、すべてのプレーは自分の責任になる」ということを理解してか、少し自分の行動にも責任が持てるようになったと思う。
- ・ 一打一打の集中と、どんな結果になろうともカップ in までやらなくてはならないという忍耐（我慢）は身に付くのではないかと思った。

教員と保護者の所見からも、「挨拶、礼儀、協調、協力、積極、責任、自信、努力、継続、集中力、忍耐、気持ちの切り替え」など、スナッグゴルフで身につくとされている能力についてのキーワードが複数見られ、スナッグゴルフがライフスキルの習得に役立つことが裏付けられました。

**7月5日（土）全国大会『第6回スナッグゴルフ対抗戦 JGT0 カップ』開催！**

なお、『UBS日本ゴルフツアー選手権 宍戸ヒルズ』3日目の5日（土）に、宍戸ヒルズCC 東コースにて、全国大会『第6回スナッグゴルフ対抗戦 JGT0 カップ』が開催されます。小学2年生から4年生で編成された1校6名による対抗戦。前年度大会3位までのシード校の他、全国10地区で行なわれた予選会などを勝ち抜いた17校の併せて20校が出場します。

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 安田・森澤

住所：東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー 私書箱1号

TEL：03-6406-6606 FAX：03-6406-9306 E-mail：koho@mori.co.jp